

2020 年 5 月 26 日
早稲田大学ふくしま広野 RC 事務局

早稲田大学環境総合研究センター
早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター
第 16 回運営会議
議事録

日時：2020 年 5 月 8 日 17:30~19:00、Zoom 会議

記録：朱 鉦

出席者(敬称略)

松岡俊二	早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター長
	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授
小野田弘士	早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・副センター長
	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・教授
小松和真	福島県広野町復興企画課・課長
阿部加奈子	福島県広野町復興企画課・主任主査
磯辺吉彦	NPO 法人・広野わいわいプロジェクト・事務局長
南郷市兵	福島県立ふたば未来学園高等学校・副校長
菅波香織	弁護士、未来会議・事務局長
島村守彦	いわきおてんと SUN 企業組合・事務局長
大和田順子	一社ロハス・ビジネス・アライアンス・共同代表
安部 良	安部良アトリエ一級建築士事務所
森口祐一	東京大学大学院工学系研究科・教授
大手信人	京都大学大学院情報学研究科・教授
勝田正文	早稲田大学レジリエンス研究所・顧問
師岡愼一	早稲田大学レジリエンス研究所・顧問
友成真一	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・教授
永井祐二	早稲田大学環境総合研究センター・研究院准教授

オブザーバー

橋爪清成	ふたば未来学園高等学校
塩田 陸	ふたば未来学園高等学校
小磯匡大	ふたば未来学園高等学校
藤城 光	アーティスト
山浦 崇	経済産業省・復興派遣員

事務局

李 洸昊	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・助教
中野健太郎	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・博士後期課程
CHOI Yunhee	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士後期課程
山田美香	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士後期課程
朱 鉦	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士後期課程

議題 1 リサーチセンターの体制について

リサーチセンターの新体制(2020 年 4 月以降)＜新規のみ表記＞

副センター長	小野田弘士（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授）	（新規）
顧問	勝田 正文（早稲田大学レジリエンス研究所顧問）	（新規）
顧問	師岡 慎一（早稲田大学レジリエンス研究所顧問）	（新規）
研究員	友成 真一（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授）	（新規）
研究員	中嶋 聖雄（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）	（新規）

議題 2 1F 廃炉の先研究会および 1F 廃炉の先研究会・第1回地域対話会合開催について

- ・第 1 回 1F 廃炉の先に関する対話会合 を 5/17（日）12:50-16:00 に ZOOM で開催する。
- ・1F 廃炉の先研究会の中間報告は関係者に事前送付されており、コメントを求めている。それを基に中間報告の修正を行い、第 1 回地域対話で議論する。
- ・当日のオンライン会議の円滑な進行のためには、ZOOM の練習や質疑応答のやり方などの工夫が必要である。
- ・Zoom のブレイクアウトセッションの機能を活用する場合には、あらかじめグループを分けた方が良い。ファシリテーターは森口さん、崎田さん、吉田さんとし、3 グループに分けてディカッションを行うことができるように調整する。

議題 3 ふくしま浜通り文化育成と発信事業について(地域の伝統・魅力等発信支援事業申請)

- ・「地域経済産業活性化対策費補助金（地域の伝統・魅力等発信支援事業）」を申請し、RC 活動に活用して行く。
- ・昨年度のふくしま浜通り文化育成と発信 WG を踏まえ、本年度も文化育成と発信をキーワードにしていく。アートを通して文化育成と発信のプロセスを魅力的にすることを考える。本事業は、J ヴィレッジ、富岡町、川内村等とも連携し、広域的かつ長期的な地域アートの展開を目指している。

議題 4 国際芸術・学術拠点構想研究会(A&S 研究会)について

A&S 研究会は SI 構想の第 3 柱として、4 月に新しく立ち上げた。A&S 研究会は、福島原発事故の記憶と教訓の未来世代への発展的継承のあり方や「復興と廃炉の両立」について考え、A&S の具体化を検討する。6 月にまとめられる予定の復興庁・国際教育研究拠点の最終報告なども念頭に置きつつ、夏頃には「中間報告（提言）」をまとめる。

議題 5 第 6 回ふくしま学(楽)会について

- ・第 6 回ふくしま学（楽）会もオンライン会議の形で開催することを予定する。地域アートの活用や多様な参加者を巻き込みことなどを工夫する必要がある。具体的には、ふたば未来学園以外の地域の高校や中学校の生徒や、首都圏の大学生の参加も工夫したい。若者同士の交流を増やし、さらに有益な議論になるようにしたい。
- ・オンライン会合の場合、グループ・ディスカッションを行う際にファシリテーターの役割が特に重要

であるため、ファシリテーターの人選をよく考える。

- ・現在、COVID-19の影響でふたば未来学園生徒の探求活動も停滞状態になっている。例年どおりのふくしま学（楽）会での発表は困難である。また、生徒たちの探求活動のテーマが、ふくしま学（楽）会のテーマとの接点が少ないことも問題である。生徒たちがRC活動にもっと関わるようにする体制を工夫する必要がある。
- ・ふたば未来学園の生徒の未来探求活動とふくしま学（楽）会との連携の新たな可能性について、これから考えていきたい。例えば、本リサーチセンター、大学の先生、未来学園の先生と生徒の対話の場を設定し、大学の先生が生徒にRCの研究テーマを説明し、生徒に探求活動との連携を考えてもらうことも考えられる。また、生徒たちが探求活動を展開する際に、大学の先生から研究のノウハウもサポートしてもらうことも可能である。ふくしま学（楽）会との連携により、未来探求プログラムの活動を活性化することも期待される。オンラインだからこそ頻繁につながることを活用したい。

議題6 復興知事業のまとめと今後の展開について

- ・本年度は、福島イノベーション・コースト機構による復興知事業（2018～2020年度）の最後年度である。リサーチセンターは社会科学分野の復興知事業の代表として、福島復興に向けてどういうメッセージを発信することができるかを考えたい。
- ・リサーチセンターは、東京大学の福島県新地町を拠点とする「環境エネルギーまちづくりを通じた地域社会イノベーション」プロジェクトなどの復興知事業を進める他大学との大学間連携についても議論を行っており、復興知事業終了後の復興研究の枠組みについても考えていく。
- ・福島イノベーション・コースト機構が管理・運営する東日本大震災・原子力災害伝承館（アーカイブ拠点）は、社会科学分野の取り組みと関連しており、リサーチセンターはこれから伝承館との接点も考えたい。

議題7 今後の予定

5/11（月）14:30-16:00	第3回 A&S 研究会
5/17（日）12:50-16:00	第1回 1F 廃炉の先研究会・第1回地域対話
5/26（火）18:00-19:30	第4回 A&S 研究会
6/05（金）19:00-20:30	第6回 1F 廃炉の先研究会
6/09（火）18:00-19:30	第5回 A&S 研究会
6/27（土）	国際開発学会第21回春季大会・オンライン開催
7/14（火）13:00	福島県立福島東高等学校・学問入門講座・講演（松岡）
8/1（土）or 8/2（日）	第6回ふくしま学（楽）会
9月 or 10月頃	1F 廃炉の先研究会報告(提言)の公表
11月 or 12月頃	1F 廃炉の先シンポジウム（仮称）開催@福島 or 東京
2021年	
1/24（日）or 1/30（土） or 1/31（日）	第7回ふくしま学（楽）会
3/6（土）	第10回原子力政策・福島復興シンポジウム@早稲田大学

以上